

# 政策シート (政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 健康医療総務費

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

## ◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

### ◇政策の概要

・市民の健康を守ることを目的として、緊急時の生命の確保、急病の早期治療など迅速かつ適切な医療サービスを受けられるよう救急医療体制の充実を図っていく。

・大規模災害時における迅速な医療救護活動が行えるよう医療救護体制を整備する。そのため関係機関との協議・調査・研究を進めていく。

### ◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	700,234
	決算	
	事業費 (A)	509,934
	人件費 (B)	190,300
	報酬 (C)	

### ◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
24時間365日休むことなく実施する救急医療体制の構築(%)	%	100	目標	100
			実績	
応急救護所の屋内設置数(箇所)	箇所	61	目標	0
			実績	
			目標	
			実績	

### ◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	健康医療推進事業				22,011	7,491	2.0	0.0	0.2	0.0	0
2	診療所管理運営事業				75,503	73,403	0.3	0.0	0.0	0.0	0
3	救急医療事業		○		387,635	239,495	18.1	1.0	0.4	6.0	0
4	へき地医療対策事業				16,883	15,483	0.2	0.0	0.0	0.0	0
5	災害時医療救護対策推進事業		○		8,184	484	1.1	0.0	0.0	0.0	0
6	看護師等養成事業費助成事業 (補助金)				9,200	8,500	0.1	0.0	0.0	0.0	0
7	総合病院移転支援事業				155,049	154,349	0.1	0.0	0.0	0.0	0
8	予防接種健康被害救済事業				7,440	6,480	0.1	0.0	0.1	0.0	0
9	自殺対策推進事業				5,515	2,715	0.4	0.0	0.0	0.0	0
10	健康医療運営経費(一般諸経費 のみ)				12,814	1,534	1.5	0.0	0.3	0.0	0
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					700,234	509,934	23.9	1.0	1.0	6.0	0

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 健康医療推進事業

### ◇事業目的・事業対象

がん対策を推進することで、がんになっても安心して暮らせる地域社会を目指す。また静岡県アイバンクへの負担金の支出ほか医療奨励賞の選考を通じて、地域の医療水準向上への取り組みを促すことや保健医療審議会の場を通じて、医療関係機関や市民の声を、保健医療行政へ反映させる。

### ◇事業の概要

- ①保健医療審議会等開催事業 本市の保健医療体制を充実するため保健医療審議会を開催し、保健医療衛生に関する調査審議を行う。また、医療奨励賞選考事業を実施し、市内の医療従事者を対象に、診断・治療方法の開発・改善への取り組みを論文形式で募集し、有識者で構成する審査会にて選考し表彰する。
- ②がん対策推進事業 がん対策推進計画に基づき相談支援機関一覧表を作成するなど、がん対策を推進する。
- ③外国人検診助成事業 浜松外国人医療援助会が実施する無料検診会等に要する経費の一部を補助する。
- ④保健医療講演会等事業 保健医療に係る市民向けの講演会等の実施を医師会等へ委託する。
- ⑤くすりの相談室事業 医薬品の正しい使い方や誤飲・誤食の相談などに応じるくすりの相談室事業の一部を一般社団法人浜松市薬剤師会に委託する。
- ⑥静岡県アイバンク運営支援事業 眼球提供者の募集及び登録等の事業を実施する公益財団法人静岡県アイバンクの運営に要する経費の一部を助成する。
- ⑦中学生のための救急蘇生講座支援事業 中学生のための救急蘇生講座事業に係る負担金を一般社団法人浜松市医師会へ支出する。その他、保健医療関係団体との連絡調整を実施する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和55年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市保健医療審議会条例ほか	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	7,491
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	840
	一般財源	6,651
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		14,520
人工	正規	2.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.2
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
保健医療審議会の開催数(回)	—	3			3

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 健康医療推進事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 診療所管理運営事業

### ◇事業目的・事業対象

市民が常に身近な地域で適切な医療が受けられる診療体制の整備を図り安定的に医療を提供する。

### ◇事業の概要

市内のへき地においても適切な医療が受けられる体制として中山間地において4つの市立診療所(引佐鎮玉診療所、引佐渋川出張診療所、引佐伊平診療所、春野歯科診療所)を運営し、市民に安定的医療の提供を行う。また、龍山診療所、龍山歯科診療所等の民営診療所を支援する。

#### 【公営】

- ①引佐鎮玉診療所管理運営事業 引佐町鎮玉地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ②引佐渋川診療所管理運営事業 引佐町渋川地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ③引佐伊平診療所管理運営事業 引佐町伊平地区住民が適切な医療を受けられるよう診療所を運営する。
- ④春野歯科診療所管理運営事業 春野地区住民が適切な歯科医療を受けられるよう歯科診療所を運営する。

#### 【民営】

- ⑤龍山診療所・龍山歯科診療所等運営支援事業 天竜地区住民が適切な医療を受けられるよう、民営診療所の運営を支援する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市引佐診療所条例 ほか	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	73,403
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	65,433
	一般財源	7,970
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		2,100
人工	正規	0.3
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
公設の4診療所の合計患者数(人)	—	8000			8000

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 診療所管理運営事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 救急医療事業

### ◇事業目的・事業対象

緊急時の生命の確保、急病の早期治療など適切な医療サービスを提供する救急医療体制の充実を図り、市民の健康を守ることを目的とする。

### ◇事業の概要

夜間、土曜日の午後及び休日における救急医療体制を安定的に運営することにより、地域住民が安心できる救急医療を提供する。

市内の救急医療体制は夜間救急室等軽症患者を受け入れる初期救急医療、手術や入院を必要とする患者を受け入れる2次救急医療、緊急かつ極めて重篤な患者を受け入れる3次救急医療に区分されている。

- ①夜間救急医療事業: 夜間における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ②休日救急医療事業: 休日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。
- ③土曜救急医療事業: 土曜日における初期救急医療及び2次救急医療体制を安定的に運営する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和49年度	—	一般会計	自治事務(その他)	医療法、浜松市夜間救急室条例ほか	—	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	410,495
	決算	
	国・県支出	10,669
	市債	0
	その他	210,246
	一般財源	18,580
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		148,140
人工	正規	18.1
	再任用(h31)	1.0
	再任用(h26)	0.4
	非常勤	6.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
休日、夜間などの救急医療体制に満足している市民の割合(%)	—	46			50

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 救急医療事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				



## 事業シート (事業名) へき地医療対策事業

### ◇事業目的・事業対象

へき地及びへき地に準ずる地区の住民の医療確保を図る。

### ◇事業の概要

- ①へき地患者輸送事業 公共交通がなく、へき地に準ずる水窪の塩沢地区から医療機関へバス運行を行い、医療機関への交通手段を確保する。(水窪協働センター)  
 ・運行回数 月2日(4回)のデマンド運行 ・利用料金 1乗車200円(障害者手帳、療育手帳提示者は50%の減免)
- ②天竜区看護師等修学資金貸与事業 天竜区内の病院及び診療所における保健師、看護師及び准看護師の充足を図るため、市長が指定する医療提供施設で一定期間就労することを条件に、看護学生等に修学資金を貸与する。  
 貸与の対象地区と貸与額  
 ・天竜、龍山、春野地区と天竜病院 月額6万円の貸与 ・佐久間、水窪地区 月額8万円の貸与

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師等修学資金貸与条例	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	15,483
	決算	
	国・県支出	181
	市債	0
	その他	2,100
	一般財源	13,202
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		1,400
人工	正規	0.2
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
へき地患者輸送車(水窪塩沢線)の年間運行回数(回)	-	48			48
看護師等修学資金の新規貸与者人数(人)	-	8			8

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名)へき地医療対策事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 災害時医療救護対策推進事業

### ◇事業目的・事業対象

大規模災害が発生した時に、最善の医療救護体制で臨むことができるようにする。また、医療関係団体及び自主防災隊の医療救護活動にかかる知識と技術の習得を目指す。

### ◇事業の概要

- 医療救護対策委員会の開催  
 医療関係団体の代表等で組織する医療救護対策委員会を開催し、災害時の医療救護が円滑に行われるよう常に情報交換を行い、体制の整備を図るとともに、医療救護計画等についての調査研究を行う。
- 医療救護計画の改訂  
 地震被害想定に基づく傷病者等を救護する体制を確立することを目的とした、医療救護計画の見直しを行う。
- 医療救護訓練の実施  
 医師会との共催で医療救護訓練を実施する。
- 医療救護本部室の運用訓練  
 災害時には、本庁51会議室を医療救護本部室として設置するため、災害時優先電話などの通信確認を県・防災訓練を通して行う。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成8年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市医療救護対策委員会要綱	—	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	484
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	484
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		7,700
人工	正規	1.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
医療救護計画の改訂(回)	-	1			1
医療救護訓練への参加人数(人)	-	400			400

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 災害時医療救護対策推進事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 看護師等養成事業費助成事業(補助金)

### ◇事業目的・事業対象

看護師及び歯科衛生士の人材育成に係る支援を行い、市内の看護師等の充足を図る。

### ◇事業の概要

○看護師養成事業費補助金 6,000千円

市内の私立看護師養成所で行う看護学生養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部と、市内の医師会立看護師等養成所が行う臨床実習強化対策事業(病院等における現場体験実習)に係る経費の一部を補助する。

・私立看護師養成所看護学生養成事業 3,000千円

交付先：浜松市医師会看護高等専修学校、静岡県厚生連看護専門学校

・看護師等養成所臨床実習強化対策事業 3,000千円

交付先：浜松市医師会看護高等専修学校

○歯科衛生士養成事業費補助金 2,500千円

市内の歯科衛生士養成所で行う、歯科衛生士養成事業に係る経費のうち教職員等の人件費の一部を補助する。

交付先：浜松歯科衛生士専門学校

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和55年度	—	一般会計	自治事務(その他)	浜松市看護師養成事業費補助金交付要綱ほか	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	8,500
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	8,500
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
看護師養成所の卒業生数(人)	—	90			90
歯科衛生士養成所の卒業生数(人)	—	44			44

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 看護師等養成事業費助成事業(補助金)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 総合病院移転支援事業

### ◇事業目的・事業対象

平成17年6月7日に浜北市と浜松赤十字病院が締結した覚書等に基づき、浜松赤十字病院の移転を支援し、「新市建設計画」に掲げる市民が安心して暮らせる医療サービスの提供を図る。

### ◇事業の概要

- ・浜松赤十字病院に建設に係る元利償還金に対する補助として助成する。
- ・助成するにあたり浜松赤十字病院の11月1日現在の診療体制を確認する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成17年度	平成38年度	一般会計	自治事務(その他)	浜松赤十字病院施設整備 償還費補助金交付要綱	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	154,349
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	154,349
	一般会計繰入金	0
	人件費(報酬等) (千円)	0
	人件費 (千円)	700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
当初計画に対して、対応できている診療科数(各年11月1日現在)	-	34			35
当初計画に対して、対応できている医師数(各年11月1日現在)	-	48			48

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 総合病院移転支援事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				



## 事業シート (事業名) 予防接種健康被害救済事業

### ◇事業目的・事業対象

予防接種法に基づき予防接種を実施した際、健康被害を受けた被害者を救済することを目的とする。

### ◇事業の概要

#### ○予防接種健康被害調査委員会の開催

予防接種法に基づく下記の予防接種を受けた方に健康被害(異常な副反応により後遺症が残った場合等)が生じた場合、市は予防接種健康被害調査委員会を開催し、疾病の状況及び診療内容に関する資料収集等を行う。本委員会が調査した資料は国へ送られ、健康被害認定のための資料となる。

#### ・子どもの予防接種

ヒブ、小児用肺炎球菌、4種混合、BCG、麻しん・風しん混合、日本脳炎、ジフテリア・破傷風混合、子宮頸がん予防、水痘(水痘は平成26年10月から)

インフルエンザ、成人用肺炎球菌(成人用肺炎球菌は平成26年10月から)

#### ○予防接種法に基づく給付(予防接種健康被害救済事業費補助金)

健康被害が予防接種を受けたことによるものであると国が認定した方に対し、予防接種法で定められた額の医療費(実費)、医療手当、障害年金等を支給する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和52年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	予防接種法、浜松市予防接種健康被害調査委員会	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	6,480
	決算	
	国・県支出	3,680
	市債	0
	その他	0
	一般財源	2,800
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		960
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.1
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 予防接種健康被害救済事業

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 事業シート (事業名) 自殺対策推進事業

### ◇事業目的・事業対象

自殺は個人的な問題として捉えるものではなく、その背景に様々な社会的要因があることを踏まえ、総合的な対策を必要とする。様々な分野の関係機関・団体と連携、協力を確保しつつ、地域の特性に応じた実効性の高い施策を推進し、自殺の防止、自死遺族等への支援の充実等総合的な自殺対策の推進を図る。

### ◇事業の概要

- 第二次自殺対策推進計画の施行  
自殺対策基本法第4条に基づき、平成26年度から30年度を計画期間とした第二次計画の施策を実行する。
- 自殺対策連携会議の開催  
自殺対策連携会議を開催して、様々な分野の関係機関・団体と連携・協力し、総合的な自殺対策の推進を図る。
- いのちをつなぐ手紙事業(普及啓発)の実施  
本市独自に事業である「いのちをつなぐ手紙」を作成し、広く市民にいのちの大切さや自殺予防についての啓発を実施する。
- 自殺対策における多職種連携支援業務の実施  
法律家が抱える自殺のハイリスク者に対して精神保健福祉士などが連携してケースワークを実施する。また、本事業で構築された連携の仕組みを市内の関係者へ普及を図る。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
平成20年度	—	一般会計	自治事務(法令義務)	自殺対策基本法、第二次浜松市自殺対策推進計画ほか	—	—

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	2,715
	決算	
	国・県支出	1,000
	市債	0
	その他	0
	一般財源	1,715
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		2,800
人工	正規	0.4
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
人口動態統計による前年の自殺率(%)	-	16.8			14.1

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 自殺対策推進事業

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

# 事業シート (事業名) 健康医療運営経費(一般諸経費のみ)

## ◇事業目的・事業対象

## ◇事業の概要

## ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業

## ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,534
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	1,534
	一般会計繰入金	0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		11,280
人工	正規	1.5
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.3
	非常勤	0.0

## ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値

## ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 健康医療運営経費(一般諸経費のみ)

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

# 政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進  
(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

### ◇政策の概要

(仮)在宅医療・介護連携センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

### ◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	23,800
	決算	
	事業費 (A)	
	人件費 (B)	23,800
	報酬 (C)	

### ◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
多職種連携研修会等の開催(回)	回	10	目標	0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

### ◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	地域支援事業費	○	○		23,800		3.4	0.0	0.0	0.0	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					23,800	0	3.4	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800



## 事業シート (事業名) 地域支援事業費

### ◇事業目的・事業対象

市民が、医療や介護が必要となっても、住みなれた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるよう(仮)在宅医療・介護連携センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

### ◇事業の概要

【やりますリスト No.42】

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業
  - ・(仮)在宅医療・介護連携センター開設 (H28.1 予定)
  - ・多職種連携の仕組みづくり、医療・介護関係者等の研修
  - ・市民への普及啓発
  - ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)
  - ・急変時の対応をするため関係機関と協議・調整
- (2) 天竜区における在宅医療・介護連携推進モデル事業
- (3) 在宅医療・介護対応薬局の認定事業

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	医療介護総合確保推進法	○	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	0
	決算	
	国・県支出	0
	市債	0
	その他	0
	一般財源	0
一般会計繰入金		0
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		23,800
人工	正規	3.4
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
在宅医療・介護連携に関する研修会等の参加者数	—	100			500
在宅医療認定薬局の指定数	—	50			200
(仮称)在宅医療・介護連携センターの設置	42	設置		継続	継続

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 地域支援事業費

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
42	<b>【開始期】</b> 天竜区在宅医療・介護連携推進事業 4月～  (仮)在宅医療・介護連携センターの設置 1月～	<b>【基盤固め期】</b> ・多職種連携の仕組みづくり、関係機関との協議 ・医療・介護関係者等の研修 ・市民への普及啓発 ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)	<b>【発展期】</b> ・急変時、看取り体制づくりの検討	<b>【充実期】</b> ・急変時、看取り体制の整備
〇〇				

# 政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進  
(予算費目名) 介護保険事業特別会計

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

### ◇政策の概要

(仮)在宅医療・介護連携センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

### ◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	16,061
	決算	
	事業費 (A)	15,361
	人件費 (B)	700
	報酬 (C)	

### ◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
多職種連携研修会等の開催(回)	回	10	目標	0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

### ◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	地域支援事業費	○	○		16,061	15,361	0.1	0.0	0.0	0.0	0
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					16,061	15,361	0.1	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円） 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 地域支援事業費

### ◇事業目的・事業対象

市民が、医療や介護が必要となっても、住みなれた地域で最期まで自分らしい生活を送ることができるよう(仮)在宅医療・介護連携センターを設置し在宅医療の推進を図るとともに、医療と福祉に関する総合的な支援を実施する。

### ◇事業の概要

#### 【重点戦略項目 No.42】

- (1) 在宅医療・介護連携推進事業
  - ・(仮)在宅医療・介護連携センター開設 (H28.1 予定)
  - ・多職種連携の仕組みづくり、医療・介護関係者等の研修
  - ・市民への普及啓発
  - ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)
  - ・急変時の対応をするため関係機関と協議・調整
- (2) 天竜区における在宅医療・介護連携推進モデル事業
- (3) 在宅医療・介護対応薬局の認定事業

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
H27	—	特別会計	自治事務(その他)	医療介護総合確保推進法	○	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	15,361
	決算	
	国・県支出	8,985
	市債	0
	その他	0
	一般財源	2,995
一般会計繰入金		3,381
人件費(報酬等) (千円)		0
人件費 (千円)		700
人工	正規	0.1
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
在宅医療・介護連携に関する研修会等の参加者数	—	100			500
在宅医療認定薬局の指定数	—	50			200
(仮称)在宅医療・介護連携センターの設置	42	設置		継続	継続

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 地域支援事業費

## ◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
42	<p><b>【開始期】</b>                      天竜区在宅医療・介護連携推進事業 4月～</p> <p>(仮)在宅医療・介護連携センターの設置                      1月～</p>	<p><b>【基盤固め期】</b>                      ・多職種連携の仕組みづくり、関係機関との協議                      ・医療・介護関係者等の研修                      ・市民への普及啓発                      ・在宅医療相談と困難事例に対する調整(委託)</p>	<p><b>【発展期】</b>                      ・急変時、看取り体制づくりの検討</p>	<p><b>【充実期】</b>                      ・急変時、看取り体制の整備</p>
〇〇				

# 政策シート

(政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進  
(予算費目名) 病院会計支出金

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

## ◇政策の概要

・当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。  
・経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

## ◇政策のコスト（千円）

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	354,306
	決算	
	事業費 (A)	354,306
	人件費 (B)	
	報酬 (C)	

## ◇政策の指標

政策指標（単位）	単位	H36 目標値	年度	H27
経常収支比率100%以上を維持	%	100.0	目標	100.0
			実績	
			目標	
			実績	
			目標	
			実績	

## ◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	病院事業会計負担金				354,306	354,306	0.0	0.0	0.0	0.0	
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8											
9											
10											
11											
12											
13											
14											
15											
16											
17											
18											
19											
20											
21											
22											
23											
24											
25											
計					354,306	354,306	0.0	0.0	0.0	0.0	0

※人工単価（千円）正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800



## 事業シート (事業名) 病院事業会計負担金

### ◇事業目的・事業対象

佐久間病院事業の安定化を図り、市民に身近な医療を効率的に提供するため、佐久間病院に対し病院事業会計負担金を支出する。

### ◇事業の概要

病院事業会計負担金 平成27年度支出額 354,306千円

- 地方公営企業法第17条の2第1項第1号に規定する負担金 41,385千円
  - ・救急告示病院負担金
- 地方公営企業法第17条の2第1項第2号に規定する負担金 312,921千円
  - ・不採算地区病院運営費及びへき地医療の実施要する費用他
  - ・公立病院附属診療所運営費負担金
  - ・医師確保対策に要する経費・退職給与金不足分
  - ・がん対策推進計画関連事業(画像読影委託料等)に必要な費用
  - ・建設改良に必要な費用(単独工事等)
  - ・看護師確保対策事業に必要な費用(修学資金)

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	一般会計	自治事務(その他)	医療法等	-	-

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	354,306
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	
	一般財源	354,306
	一般会計繰入金	
	人件費(報酬等) (千円)	
	人件費 (千円)	
人工	正規	0.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標(単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
経常収支比率100%以上を維持		100.0			100.0

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

# 補助シート (事業名) 病院事業会計負担金

◇事業工程表

No.	H27	H28	H29	H30
〇〇				
〇〇				

## 行財政改革の取り組み (事業名) 病院事業会計負担金

### ◇取組概要

へき地医療拠点病院として、北遠地域の医療を確保するとともに、経常収支比率100%を堅持できる安定的な経営を目指す。

◇行財政改革の視点 2 行財政基盤の強化

◇行財政改革の進行管理 (行政経営計画、個別計画等、政策・事業シートのうち、該当する□にチェック)

- 行政経営計画 取組番号 \_\_\_\_\_  
取組事項名 \_\_\_\_\_
- 個別計画等 計画名等 \_\_\_\_\_

政策・事業シート (以下の項目に記載)

### ◇行財政改革の指標・効果額

指標 (単位)		H27	H28	H29	H30	最終値
1	経常収支比率100%以上を維持 (%)	計画値	100.0	100.0	100.0	100.0 (H36)
		実績値				
2		計画値				
		実績値				
3		計画値				
		実績値				
効果額 (千円)			0	0	0	0

### ◇行財政改革の評価

◀年度末の進捗状況 ▶

# 政策シート (政策名) 地域医療・地域包括ケアの推進

(予算費目名) 浜松市病院事業会計(佐久間病院)

(総合計画体系)

「分野」 健康・福祉

30年後の姿 支え合いによって、だれもが住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができる。

10年後の目標

- ・ 地域での支え合いの仕組みづくりが進んでいる。
- ・ 病気の発症や重症化を予防することにより、健康寿命が延びている。

## ◆基本政策 人々の心身の健康と生活を守る医療の充実

### ◇政策の概要

・ 当地域の医療の充足を図り、地域住民の健康維持と増進、地域の発展に貢献する自治体病院としての使命を果たす。  
 ・ 経常収支比率100%を堅持する安定的な病院運営、医師等の確保、医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを継続する。

### ◇政策のコスト (千円)

		H27
年関係費(A+B+C)	予算	1,297,770
	決算	
	事業費 (A)	714,440
	人件費 (B)	525,000
	報酬 (C)	58,330

### ◇政策の指標

政策指標 (単位)	単位	H36 目標値	年度	H27
経常収支比率100%以上を維持	%	100.0	目標	100.0
			実績	
医療機器の整備	台	4	目標	7
			実績	
看護師修学資金新規貸与者	人	4	目標	4
			実績	

### ◇政策の進捗・課題

<進捗>

◇政策実現のために実施する事業一覧

	事業名	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
							正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	非常勤	
1	浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)		○		1,176,994	593,664	66.0	2.0	1.0	19.0	58,330
2	浜松市病院事業(佐久間病院資本的支出)		○		120,776	120,776	0.0	0.0	0.0	0.0	
計					1,297,770	714,440	66.0	2.0	1.0	19.0	58,330

※人工単価(千円) 正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 非常勤2,800

## 事業シート (事業名) 浜松市病院事業(佐久間病院事業費用)

### ◇事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所を運営し、市民に身近な医療を効率的に提供するとともに、地域住民の保健・福祉事業の中心的な役割を担い、安全安心な医療を提供する。

### ◇事業の概要

○佐久間病院と2箇所の附属診療所の運営

- ・北遠地域唯一の公立病院として市民に身近で適切な医療サービスを提供する。
- ・救急医療事業や無医地区巡回診療を行う。
- ・運営の基本方針として、健康・医療・福祉を一体的に取り組む地域包括ケアを推進し、健康で安心して暮らせる地域社会の実現に取り組む。
- ・看護師の確保対策に取り組み、病院運営の基盤を整備する。
- ・がん診療連携拠点病院との連携による画像読影、婦人科健診やがん相談支援事業を実施し、がん対策推進計画を推進する。

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等	-	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	1,176,994
	決算	
	国・県支出	757
	市債	
	その他	
	一般財源	283,530
一般会計繰入金		309,377
人件費(報酬等) (千円)		58,330
人件費 (千円)		525,000
人工	正規	66.0
	再任用(h31)	2.0
	再任用(h26)	1.0
	非常勤	19.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
経常収支比率100%以上を維持	-	100.0			100.0

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み

## 事業シート (事業名) 浜松市病院事業(佐久間病院資本的支出)

### ◇事業目的・事業対象

佐久間病院と附属診療所の運営に必要な医療設備の充実を図り、身近な地域で適切な医療サービスを提供する。海外留学資金貸与事業、看護師修学資金貸与事業により整形外科医、看護師の確保に取り組む。

### ◇事業の概要

①医療機械器具等の整備 30,560千円

- ・ポータブルバランサー
- ・多項目自動血球分析装置
- ・CT撮影装置
- ・電動ベット2台
- ・調剤台
- ・血液ガス分析装置
- ・自動血圧計

②企業債元金償還 81,216千円

- ・病院事業債償還

③看護師確保対策 9,000千円

- ・看護師修学資金貸与等

### ◇事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等	重点戦略	主要事業
昭和37年度	-	事業会計	自治事務(その他)	医療法等	-	○

### ◇事業のコスト

		H27
事業費(千円)	予算	120,776
	決算	
	国・県支出	
	市債	
	その他	117,232
	一般財源	
	一般会計繰入金	3,544
人件費(報酬等) (千円)		
人件費 (千円)		
人工	正規	0.0
	再任用(h31)	0.0
	再任用(h26)	0.0
	非常勤	0.0

### ◇事業の指標

主な事業活動・事業成果 指標 (単位)	重点戦略 項目No.	H27		H30	H36
		目標値	実績値	目標値	目標値
医療機器の整備	-	7			7
看護師修学資金新規貸与者	-	4			4

### ◇事業の成果・課題・改善点・今後の取り組み